

団体名	忠臣蔵交流楽碁会	活動名	忠臣蔵交流囲碁大会及び こども囲碁教室の開催
-----	----------	-----	---------------------------

## 1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域)	② 実施期間 (開催準備期間を含む)
忠臣蔵交流囲碁大会 予選大会 赤穂市文化会館 小ホール、学習室 決勝大会 赤穂市文化会館 学習室	忠臣蔵交流囲碁大会 平成 27 年 5 月 1 日より準備に着手 囲碁大会 平成 27 年 12 月 6 日開催
こども囲碁教室 入門クラス 赤穂市中央公民館 初級クラス 同上	こども囲碁教室 自 平成 27 年 6 月 21 日 至 平成 28 年 2 月 7 日

## ③ 実施体制

忠臣蔵交流囲碁大会 実行委員 25 名、他 15 名 (傘踊り、ボランティア)

こども囲碁教室 講師 9 名

## ④ 事業実績

## 1) 忠臣蔵交流囲碁大会

平成 27 年 6 月、赤穂市、上郡町、備前市より大会実行委員 25 名を選出し、大会実行推進体制と役割分担を決め準備活動を開始した。

12 月 6 日の大会参加者は A クラス (5 段以上) 35 名、B クラス (2 段～4 段) 63 名、C クラス (初段, 1 級～4 級) 64 名、D クラス (5 級以下) 25 名 合計 187 名であった。

当大会の開催は NHK の日曜囲碁番組で紹介され知名度も上がり、西は長崎県/東は千葉県からの参加あるなど参加者の地域的の広がりが見られ、今後観光を兼ねた参加者の増加を期待したい。年齢的にも上は 90 歳、下は幼稚園児まで老若男女が終日囲碁対局を楽しんだ。こどもの参加は 24 名、うち有段者 4 名があり今後の活躍が楽しみである。

また後援していただいている関西棋院より審判としてプロ棋士 2 名が参加、対局が終了した人に対して無料で指導碁を打っていただき、大変好評であった。

大会開催状況については、(添付書類 3-1) 第六回忠臣蔵交流囲碁大会開催状況 参照。

ホームページ <http://www015.upp.so-net.ne.jp/ako-rakugokai/noljisseki.html> にも掲載中

## 2) こども囲碁教室 (次世代のこどもとシルバー世代へ囲碁入門講座開催)

## ① こども教室受講生募集活動

昨年度受講者に継続受講案内ハガキ発送、27 年度新規生徒募集広告を 4 月に赤穂民報に掲載

## ② こども教室受講申込生徒数 24 名

(内訳 入門クラス 10 名、初級クラス 11 名、内シルバーの方の参加は 8 名)

## ③ こども教室囲碁講座

平成 27 年 6 月 21 日～平成 28 年 2 月 7 日の間 毎週日曜日 10 時～11 時 30 分 合計 30 回開催

入門クラス、初級クラスとも赤穂市中央公民館にて開催

- ・入門クラスは 囲碁の基本ルールの理解した後、9 路、19 路盤での実戦対局で指導
- ・初級クラスは 囲碁の基本手筋、定石、布石についての講座と実戦対局指導をした。

## ④ 土曜夜店「親子ふれあい囲碁あそび」

次世代のこどもに囲碁の面白さを PR するために、花岳寺通り商店街の土曜夜店に参加し、夕方 6 時より楽碁会囲碁サロンを開放し、囲碁を知らない子に、碁石を使ったゲームで楽しんでもらった。

## 2 事業実施の成果

### 事業実施の成果

日本の伝統文化である囲碁を通じて地域間交流、世代間交流を活発にし、人口減少が進む東備西播地区の活性化を図るために、近隣の2市1町(赤穂市、備前市、上郡町)が中心となって、他地域にも呼掛け活力ある地域作りに、貢献することを目標として活動してきた。

#### 1) 忠臣蔵交流囲碁大会 (添付書類3-1) 参照

- ・大会開催も六回を重ね、その名も定着し京阪神地区からの参加者も増えてきている。
- ・忠臣蔵交流囲碁大会が、NHK日曜囲碁番組(囲碁フォーカス)で紹介され、全国の囲碁愛好家から問合せの電話が寄せられた。その影響もありインターネットホームページからの参加申込が増え参加者の輪が広がってきた。
- ・大会開催に当たっては40社を超える地元企業、商店、旅館、漁業組合から協賛頂き、参加賞、入賞品、他に利用させて頂いた。

なお協賛頂いた会社名は、インターネットのホームページに掲載するとともに、賞品の目録を作成し賞品と一緒に参加者に手渡し協賛会社の宣伝をさせて頂いた。(添付書類3-3)

また当日審判長として参加いただいた、関西棋院のプロ棋士から「私の知る限り、日本一のアマチュア囲碁大会。もっと大きく育ててほしい(赤穂民報の記事より)」と激励された。

#### 2) こども&シルバー囲碁教室 (添付書類3-2) 参照

- ・27年度のこども囲碁教室参加者は21名。毎週日曜日延べ30回開催した。  
囲碁大会には、近隣の町(上郡、相生、たつの、加古川、豊中)のこども囲碁指導者に連絡をとりに参加を呼び掛けた。(こどもの参加24名の内近隣地区からの参加は18名)  
「右脳」は3~13才の間に、80%の発達を終えると言われているが、その時期に当たる幼稚園、小学生に囲碁を教え、こどもの脳の発達と感性を豊かにする事は非常に意義のある事である。
- ・シルバー囲碁教室  
こども教室に父兄とシルバー世代の方にも参加してもらっているが、医学的にも囲碁は右脳を刺激し、判断力を高めストレス解消に効果があることは既に認められており、認知症予防・脳卒中のリハビリなどでも注目されています。
- ・囲碁は子供から年寄りまで、誰でも生涯楽しめるゲームであり、現代社会に希薄になりつつある家族・師弟・先輩等との年代を越えたコミュニケーション、地域社会での交流を楽しめるものだと信じて日本の伝統文化である、囲碁の面白さを伝承して行きたい。



# (添付資料 3-1) 第六回忠臣蔵交流囲碁大会開催状況

今年度の忠臣蔵交流囲碁大会は12月6日赤穂市文化会館にて開催され、棋力に応じてA,B,C,Dクラスに分かれて熱戦が繰り広げられた。当大会は東備西播定住自立圏形成推進協議会の支援のもと、NHKの囲碁番組（囲碁フォーカス）でも紹介され地方の囲碁大会としての知名度も上がり、参加者が200名規模の大会として定着してきた。

特に、40社を超える地場の会社・商店・観光旅館・漁協・備前焼窯元などから、多数の賞品を提供いただき大会を盛り上げて頂いている。最高齢参加者は90歳、一方チビッコの参加は24名、うち4名は有段者で今後の活躍が楽しみである。西は長崎県、東は千葉県からの参加者があり、今後観光を兼ねた参加者の増加を期待したい。

1) 参加者数：187名（クラス別内訳 Aクラス35名、Bクラス63名、Cクラス64名、Dクラス25名）

2) 大会成績 上位入賞者一覧表

順位	Aクラス（五段以上）			Bクラス（4段～2段）			Cクラス（初段～4級）			Dクラス（五級以下）	
	氏名	段	市町	氏名	段	市町	氏名	級	市町	全勝賞	3勝賞
優勝	北川貴浩	8段	大阪市	藤田信夫	4段	赤穂市	難波徳和	2級	たつの	深美あや子	定亮介
準優勝	井土雄介	6段	姫路市	古池博司	2段	相生市	貴田洋司	3級	たつの	米村真紀	鎌田雅彦
3位	西原茂	5段	備前市	玉作乙香	3段	上郡町	福水雅史	2級	明石市		藤塚晴也
4位	沖 恵太	5段	神戸市	土屋一郎	4段	赤穂市	緒方靖子	初段	長崎市		他6名

3) この忠臣蔵交流囲碁大会に対して、40社を超える地元企業、商店、御崎観光旅館、漁業組合、備前焼他、多数の賞品を提供頂き、参加賞、入賞賞品、謝礼他に充当させていただきました。この書面を借りて厚く御礼申し上げます。

4) 大会スナップ写真





(添付書類 3-2) こども囲碁教室活動状況

こども教室 活動状況 (H27 年度)

1.教室の実施期間

平成 27 年 6 月 21 日 ~ 平成 28 年 2 月 7 日 毎週日曜日午前 10:00~11:30 延べ 30 回開催

2.教室会場：赤穂市民会館

3.受講者

小中学生 13 名、シルバー受講 9 名

5. クラス編成

入門クラス 10 名、初級クラス 12 名 合計 22 名

4.指導目標 囲碁の習得を通じて、右脳の健全な発達を促し、「考えて行動する落ち着いたこども」、  
「負ける悔しさを経験した辛抱強い、キレないこども」を育てる。

日本の伝統文化である囲碁を、入門・初級 2 クラスに分け囲碁を打つ楽しさを伝える。

入門クラス：初心者対象、囲碁のルールを理解し 19 路盤で打てるレベルになるまで指導

初級クラス：ある程度囲碁を打てるこどもを対象に、上級レベルを目指して指導

5.指導実績

(1) カリキュラム	(2) 指導内容		(3) 回数	(4) 日程
	入門クラス	初級クラス		
① 開講式	父兄同伴 教室開催の趣旨、囲碁の生い立ち、対局マナーとエチケット他囲碁に関する話題		1	平成 27 年 6 月 第 3 日曜
② 講座と 実戦 指導	石をとる基本ルール 9 路盤での石取りゲーム 石を取る手筋の基礎	石を取る手筋、地所のとり方 石の攻め合いと布石について 序盤の戦い方	9	6 月 第 4 日曜 ~ 8 月 第 4 日曜
	石の連絡と切断、石の死活 地所のとり方、13 路盤の打ち方と実戦対局	中盤の戦い方 終盤の戦い方	9	9 月 第 1 日曜 ~ 10 月 第 4 日曜
	19 路盤の打ち方の基礎、 攻め合いとコウ、置碁の基本定石と序盤の打ち方、実戦対局	布石作戦 基本定石 石の形と急所	10	11 月 第 1 日曜 ~平成 28 年 1 月 第 4 日曜
③ 修了式	全員でこども囲碁・連碁対局		1	平成 28 年 2 月 7 日
④ 大会	忠臣蔵交流囲碁大会にてチビっ子大会(Dクラス大会)開催		1	平成 27 年 12 月 6 日

6.開催状況 (スナップ写真)





(添付書類 2-0)

## H27年度 イベント等事業収支決算書 (計画/実績)

1 期間 平成 27年度 (平成27年5月～平成28年2月)

### 2 収入の部

(単位;円)

科目		計画	実績	備考
事業推進支援金 (ア)		200,000円	200,000円	民間イベント事業支援金
事業収入 (参加料)	チャンピオン大会 (A, B, Cクラス)		316,000円	2,000円 x 158名 (除くこども4名)
	Dクラス大会		7,500円	1,500円 x 5名 (除くこども20名)
	各クラスこども参加料		12,000円	500円 x 24名
	こども教室 (シルバー受講料)		13,000円	1,000円 x 13ヵ月 (延べ)
小計		350,000円	348,500円	
自己資金	忠臣蔵交流楽碁会前年度繰越金		2,524円	
	協賛金・寄付金		90,000円	企業(タテホ化学他)、個人5名
小計		82,000円	92,524円	
収入合計 (イ)		632,000円	641,024円	

※ 収入科目は、収入金額の種類 (自己資金、他団体負担金、参加費等) に分けて、それぞれ記入してください。

### 3 支出の部

(単位;円)

科目		計画金額	実績金額	積算内訳
助成対象経費	謝金	164,000円	164,000円	こども教室講師、事業協力謝金 (大石神社他)
	宿泊費	5,000円	8,600円	関西棋院棋士 審判2名
	事務用品 (事務用品、教材費 他)	42,500円	109,258円	文具費、印刷費、囲碁テキスト代他
	通信費 (募集案内、事務連絡)	46,000円	23,400円	ハガキ、切手
	会場費	189,500円	164,608円	文化会館借用、会場設営費、対局設備借用
	委託料	60,000円	60,000円	関西棋院棋士 審判委託2名 (旅費含む)
小計 (ウ)		512,000円	529,866円	(ウ) ≥ (ア)
対象外経費	昼食費、夕食費	90,000円	88,564円	予選大会昼食費、決勝大会夕食費
	会議費	20,000円	10,440円	大会打上
	謝礼他	10,000円	2,916円	協賛への謝礼
小計		120,000円	101,920円	
支出合計		632,000円	631,786円	
次年度繰越金			9,238円	
合計 (エ)		632,000円	641,024円	(エ) = (イ)

※ 収入と支出の合計は一致させてください。



(添付書類2-1)

H27年度支出明細(計画/実績)

計画		実績		金額(円)	使 途 内 容	備 考	領収書No
区 分	使 途 内 容	金額(円)	使 途 内 容				
囲碁大会&こども教室	事業協力謝礼	20,000	大石神社傘踊り	20,000	大石神社、傘踊り		1-1, 1-2
	こども教室講師謝金	144,000	子供教室講師謝金	144,000	講師謝金(¥800x6人x30回)		1-3~1-11
	(小計)	164,000		164,000			
宿泊費	旅費	5,000	審判x1名	0	審判x2名		2-1
	宿泊費	5,000		8,600			
	(小計)	10,000		8,600			
事務	消耗品(ホルダー、シール、封筒他)	10,000	徳用ハガキ用紙	756	Seria		3-1
			印刷用紙(A4)	6,004	アグロ		3-2
用品	こども教室教材	22,500	囲碁入門テキスト	7,230	関西棋院		3-3
			囲碁トレーニング	10,800	日本棋院(赤穂書房)		3-4
	印刷インク費用	10,000	パソコンインク	17,802	エディオン		3-5
			パソコンインク	8,166	エディオン		3-6
	囲碁用品		碁盤、碁石セット	58,500	関西棋院		3-7
	(小計)	42,500		109,258			
通信費	事務連絡用	46,000	募集案内(ハガキ、切手)	23,400	往復ハガキx200枚 他 切手		4-1
	(小計)	46,000		23,400			
会場費	会場借用費	80,000	大会会場借用費	75,260	赤穂市文化会館(小ホール、学習室)		5-1
	会場付属設備、舞台管理費		付属設備使用料、舞台管理費	3,948	赤穂市文化会館		5-2
	対局設備借用費(運搬費含)	69,500	碁盤、碁石100セット	60,000	関西棋院(碁盤、碁石、時計、運搬費)		5-3
			対局時計50セット、運賃				
	会場設営費	40,000	看板ポスター、組合わせ表他	20,000	藤友建設設計事務所		5-4
	"		お花	5,400	たなべ花店		5-5
	(小計)	189,500		164,608			
委託費	司会	10,000		0			
	審判(1名)	50,000	審判委託(2名)	60,000	旅費交通費を含む		6-1, 6-2
	(小計)	60,000		60,000			
	補助対象費目合計	512,000		529,866			
その他	屋食費	70,000	屋食費(予選)	71,064	主婦の店(235食X ¥280)x消費税1.08%		7-1
補助	決勝夕食費	20,000	夕食費(決勝)	17,500	惣菜四七(35食x¥500)消費税込		7-2
非対象	会議費	20,000	大会打上	10,440	大会打上、寒川商店		7-3
	謝礼他	10,000	大会協賛の御礼菓子	2,916	伊勢崎、金重		7-4
	次年度繰越金			9,238			
	補助非対象費目合計	120,000		111,158			
合計	事業総合計	632,000		641,024			